

国語科学習指導案

世羅町立世羅西中学校

授業者 藤原 康治

- 1 日時 平成24年11月22日(木) 2校時
- 2 場所 世羅中学校 少人数教室1
- 3 学年 世羅西中学校 第1学年(生徒数 14名)
- 4 単元名 論点をとらえる「流氷と私たちの暮らし」(光村図書)

5 単元について

(1) 単元観

本単元は、主として中学校学習指導要領国語科第1学年の指導事項、「読むこと」の内容を受けて設定されている。

「C読むこと」

(1) イ 文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見などを読み分け、目的や必要に応じて要約したり要旨をとらえたりすること。

本単元でつけたい力は、文章の展開を捉え、文章全体の構成を捉える力と段落の中心的な部分と付加的な部分を読み分け、要約する力である。

構成は、序論・本論・結論の三段構成となっている。分かりやすい構成であり、段落に着目し、文章の展開を捉え、文章全体の構成を捉える力を育成できる教材である。各段落の中心文を捉えながら、段落相互の関係を読み取り、また、「まず」「次に」「このように」などの段落をつなぐ語句にも着目させることで文章の展開を捉える力が付けられる教材である。

また、要約する力を付けるにも適している。各まとまりには中心となる段落や文と具体例や説明を加えてそれを支える部分とがある。これらを判断しながら読み、文章の中心的な部分と付加的な部分の読み分けの学習をすることができる。要約するときには、文章全体の構成を捉え、中心段落や中心文に着目し、それらのキーワードをつないでいく。本教材はこの要約の手順を生徒自身が確認しながら学習できると考えている。

文章中の図についても、文章との関連を読み取ったり、その効果を考えたりすることで筆者の伝えたい内容を的確に読み取らせる学習ができる教材である。

(2) 生徒観

本学年の生徒は、説明的文章の学習ではこれまでに、段落の役割に着目して読む学習や段落の関係に注意して構成を読み取る学習を行ってきた。

このような指導により本学年の生徒の「文章の展開を捉え、文章全体の構成を捉える力」がどの程度付いているのかを把握するため、また、本単元でつけたい力である「段落の中心的な部分と付加的な部分を読み分け、要約する力」も把握することも併せて、レディネステストを実施した。結果は次の通りである。

内 容	正答 (%)
段落の中心的な部分と付加的な部分を読み分けること	50.0
文章の展開を捉え、構成を捉えること	16.7
中心文をもとに要約すること	25.0

「文章の展開を捉え、構成を捉えること」について、三段構成を捉える時に、序論から本論へ展開するところが適切に判断できていないという課題がある。接続詞に目を向けられていないためだと考えられる。「段落の中心的な部分と付加的な部分を読み分けること」については、無解答や最後まで答えられてないものが多かった。判断するための時間が十分になかったということであるが、中心文を判断するための規準が分からなかったためだと考えられる。要約についても同様に無解答や最後まで答えられてないものが多かった。また、段落相互の関係や重要度を判断せずに、単に中心文をつなげてしまいうまくいかなくなっているものがあつた。

4月に行った標準学力調査では、「段落相互の関係を考えながら内容を的確に捉える」問題が正答率42.9%（全国正答率52.2%）と課題であることが分かった。また、「文章の内容を的確に捉える」問題でも正答率64.3%（全国正答率70.5%）で全国正答率を下回っている。

また、「国語に関するアンケート」では、「段落と段落のつながりや文章全体の組み立てに注意して文章を読んでいます」という項目では、否定的回答が58.3%となっている。「中心となる言葉や文に線を引きながら、文章を読んでいます」という項目でも、否定的回答が66.7%である。

要約については、どのようにすればいいのかわからないということで、苦手意識を持っている。また、文章の読み方が雑で、「なんとなく大事そう」という自分の感覚的なものを頼りに要約している様子があり、文章の中心的な部分と付加的な部分の読み分けや、キーワードの判断といったことを繰り返す学習が必要である。しかし、単調な繰り返しでは生徒たちの学習意欲は引き出せないため、目的を持たせた活動を仕組み、学習意欲を高める工夫をすることが重要である。

(3) 指導観

①単元を貫く言語活動とその特徴

本単元では、言語活動例イにある「文章と図表などとの関連を考えながら、説明や記録の文章を読むこと」を仕組み、プレゼンテーションの絵コンテを作成することを言語活動としている。

この言語活動の特徴は、プレゼンテーションの絵コンテの作成を目的にして文章を読むことを通して、中心的な部分と付加的な部分の読み分けができたり、文章と図との関連を確認しながら読んだりすることができることである。この活動により、筆者の伝えたい内容を的確に読み取る力を育成することができる。また、絵コンテを「シンプルにする」ということもこの言語活動の特徴として挙げられる。「シンプルにする」という意識が絵コンテに使う語句を吟味して選択させ、思考力・判断力の育成にもつながる。

そして、その選択の根拠が中心的な部分や図と関連する部分であるため、文章で説明されている事実と図との関係を整理することにもなり、要約する力の育成にもつながると考え、この言語活動を取り入れた。

②指導について

文章を絵コンテに書き換えるという要約の学習活動であるが、構成の大枠をつかませることが、ま

が必要であると考え。絵コンテを作成する前段階で、文章の展開を捉え、全体の文章構成をつかむことにも指導の重点を置きたい。

構成をつかむために、段落①から段落⑩が序論・本論・結論の三段構成となっていることを捉えさせていく。また、本論部分が3つのまとまりに分かれていることも捉え、構成を確認させる。

その際に、段落の中心文を捉え段落の要旨を読み取ることで文章の筋道を捉えさせたり、接続語や指示語など論の展開に使われる語句に着目させて捉えさせたりしたい。そういう学習活動を行うことで段落相互の関係が捉え、文章全体の構成をつかめるようにしていきたい。本学年生徒の課題克服となる学習活動でもある。

そして、中心段落や中心文を捉え、中心となる部分のキーワードによって、シンプルな絵コンテを作成させていく。絵コンテ作成では、どのようなシートにすれば効果的に相手に伝えられるのかということも考えさせたい。シンプルな絵コンテの必要性をつかみ、そのことを意識した学習活動にすることが、中心文やキーワードの吟味につながり、また、これらの判断を生徒たちが何度も行うことによって、思考力・判断力の育成につながると考える。

本単元ではプレゼンテーションを実の場をもって行うことはしない。プレゼンテーションを行うことが学習の目的ではなく、中心文やキーワードを捉えて要約する力の育成を目的としてこの学習活動を仕組む。

また、絵コンテ作成時には、グループによって違いが出ているものを比較し、本教材のプレゼンテーションに使う絵コンテとしてふさわしいものを適切な根拠をもって練り合う活動も仕組みたい。

授業における発言については、積極的に発言できる生徒を軸にしながらも、その一方で人の考えをまず聞いてから始動する生徒たちの学習意欲を高めるための指導にも力を注ぎたい。

6 単元の目標

- ・文章と図との関連を捉えながら、説明の文章を読もうとする。(国語への関心・意欲・態度)
- ・文章の構成や展開を捉え、自分の考えをもつことができる。(C 読むこと(1)エ)
- ・説明されている事実と図表との関係を整理し、文章の要旨を捉えられる。(C 読むこと(1)イ)
- ・説明の文章を読んで自分の考えをまとめて要約する際に、より適切な語句を選ぶことができる。

(伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項(1)イ(ウ))

7 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
・文章と図との関連を捉えながら、説明の文章を読もうとしている。	・文章の構成や展開を捉え、自分の考えをもっている。 ・段落ごとに内容を捉えたり、段落相互の関係を捉えたりしながら、本論の内容を読み取っている。 ・説明されている事実と図表との関係を整理し、文章の要旨を捉えている。	・説明の文章を読んで自分の考えをまとめて要約する際に、より適切な語句を選んでいる。

	・説明されている事実と図表との関係を整理し、文章の要旨を説明している。	
--	-------------------------------------	--

8 単元指導計画（全10時間）

次	学習内容（時数）	評価の観点			評価規準	評価方法
		関意態	読む	言語		
1	全文を音読し、作品の概略をつかみ学習の見通しをもつ。（1）	○			・文章と図との関連をとらえながら、説明の文章を読もうとしている。	観察
2	段落に注目し、文章の展開を捉え、全体の文章構成をつかむ。（1）		○		・文章の構成や展開を捉え、自分の考えをもっている。	ワークシート
	本論1から本論3の段落について、中心文を捉え、段落相互の関係と各段落の要旨を読み取る。 中心文は意味内容や接続語をもとに段落内の文相互の関係を考えながら捉えていく。（1）			○	・段落ごとに内容を捉えたり、段落相互の関係を捉えたりしながら、本論の内容を読み取っている。	観察 ワークシート
	図表が使われている段落に注目し、文章と図表との関連を考えながら読む。（1）		○		・説明されている事実と図表との関係を整理し、文章の要旨を捉えている。 ・文章と図表との関連を捉えながら、説明の文章を読もうとしている。	観察 ワークシート 観察
3	文章をもとにプレゼンテーションシートを作る。 ・分かりやすいシートの作り方について確認する。（1）		○		・説明されている事実と図表との関係を整理し、文章の要旨を捉えている。	観察 ワークシート
	文章をもとにプレゼンテーションシートを作る。 ・図表や事象を表す語句を用いてプレゼンテーションシートの絵コンテを作る。（4）【本時2/4】		○	○	・説明されている事実と図表との関係を整理し、文章の要旨を捉えている。 ・説明の文章を読んで自分の考えをまとめて要約する際に、より適切な語句を選んでいる。	観察 ワークシート 観察 ワークシート
	作成した絵コンテを使ってプレゼンテーションを行う。（1）		○		・説明されている事実と図表との関係を整理し、文章の要旨を説明している。	観察 発表

9 本時の目標

図や文章中の語句を用いて、プレゼンテーションシートの絵コンテに書き換えることを通して、文章を要約することができる。

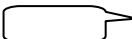
10 準備物

ワークシート、絵コンテ用シート（無地の台紙、タイトル用、要旨記入用、図）、色鉛筆

11 本時の評価規準

- ・説明されている事実と図表との関係を整理し、文章の要旨を捉えている。
- ・説明の文章を読む上で大切な語句を適切に使っている。

12 学習の展開（本時 7 / 10 時間）

●ねらい—まとめ ■言語活動 ★発声 ▲熟考・表現タイム □ドリル  ひろしま学びのサイクル

理由付け・つなぎ（発表力）

論理力の視点・書く活動

学習活動	指導上の留意点	評価規準	評価方法
1 目標の確認	★大きな声で発声し、全員で目標を確認する。		
<p>【本時の目標】 ●図と文章の関係を読み取り、シンプルな絵コンテを作成する。</p>			
2 本時の学習の確認 ・本論1の前半(段落⑤⑥⑦⑧)の「大気の循環」部分の中心部分を捉え要約し、文章をプレゼンテーションの絵コンテに書き換えることを確認する。 ・全体の構成を確認する。	段落⑤…本論の導入 段落⑥⑦⑧…大気の循環 構成表の活用（既習内容）		
3 既習事項の確認 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>書き換えのルール</p> <ul style="list-style-type: none"> ①シンプル ②キーワード（文章そのままではなく） ③シート1枚で1つの内容 ④できれば図や写真を取り入れる。 </div>	・既習事項の復習を行い、絵コンテ作成のためのポイントを確認する。 ・「①シンプル」にすることが学習活動のポイントとなり、そのために中心文やキーワードを捉えることが大切であること、そして、そのことで文章を正しく要約できることを確認する。		

しっかり学ぶ

<p>4 学習範囲の音読</p>	<p>★大きな声で音読し、学習範囲を確認する。</p>		
<p>5 絵コンテの作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4グループでの学習活動 ・「書き換えのルール」を絵コンテ作成の条件とする。 <div data-bbox="156 660 651 987" style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>[ルール①②]の中心文やキーワードを捉えることにおいて、それを捉えられない生徒やグループには、既習事項である以下のことを確認し、支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・段落内の文の数を捉える。 ・前後の文や段落との関連を捉える。 </div> <p>段落⑤の書き換え</p> <div data-bbox="399 1137 683 1189" style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block;"> <p>じっくり考える</p> </div> <p>段落⑥⑦の書き換え ■▲</p> <p>段落⑧の書き換え ■▲</p> <div data-bbox="212 1395 651 1507" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>中心文やキーワードを的確に捉える。 【語彙力（具体的な学習用語）】</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・絵コンテ作成用に「絵コンテ台紙」「タイトル用」「要旨書き込み用」「図」シートを配布する。 ・段落⑤⑥⑦⑧で1枚ずつ作成 ・書き換えのルールについて [ルール①②] 中心文やキーワードを捉えることがポイント。「なぜそこを選んだのか」を根拠をもって説明できるようにする。 [ルール③] 何枚必要かを問うが、各段落1枚として要約の目的が明確になるようにする。 [ルール④] 図は教科書掲載のものを準備しておく。 ・段落⑤ 5文目を中心文として作成する。 ・段落⑥⑦ 教科書掲載の図表を使い、文章との関連を図って作成する。 ・段落⑧ 図がないことに目を向けさせ、図がない理由や必要性を考えさせる。 ある図と文章との関連を考えさせるだけでなく、図のないところについて考えさせることも、本単元の言語活動である図との関連を図ることにつながる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・説明されている事実と図表との関係を整理し、文章の要旨を捉えている。 ・説明の文章を読んで自分の考えをまとめて要約する際に、より適切な語句を選んでいる。 	<p>観察 ワークシート</p> <p>観察 ワークシート</p>
<p>6 作成した絵コンテの交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4グループの絵コンテを提示 ・4枚の中から違いが出ている絵コンテを選ぶ。 ・作成した絵コンテの根拠を説明する。 ・比較して気づきを発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・タイトルや要旨に使われている 	<ul style="list-style-type: none"> ・説明されている事実と図表との関係を整理し、文章の要旨を捉えている。 	<p>観察 発表</p>

<div data-bbox="212 152 651 255" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>タイトルや要旨に使われている表現を比較する。【関係性（比較）】</p> </div> <div data-bbox="212 282 651 385" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>比較した表現を根拠を考えながら適切な理由付けをする。（発表力）</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・効果的に伝わる絵コンテを選ばせる。 	<p>表現を比較し、根拠を考えながら適切な絵コンテの作成につなげる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・段落⑧についての検討する。 <ul style="list-style-type: none"> ・気づきを練り合いに結びつける。 ・既習事項をもとに根拠付けられるようにする。 		
<p>7 学習のまとめ 本時のまとめ</p>			
<p>【本時のまとめ】 ● シンプルな絵コンテにするために要点をつかみ、適切に要約する。</p>			
<p>本時の振り返り 自己評価シートへの記入</p>			